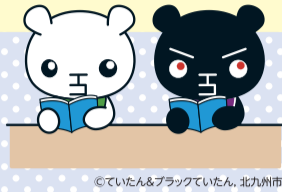


先生の魅力発信!

学校で活躍する先生に教員のやりがいや魅力についてお話しいただきました。



槻田小学校

なりさわ ちあき
成澤 千晶 先生



教員を目指したきっかけ

子どもの頃、担任の先生の授業や一緒に遊んでもらったことが面白くて学校が大好きでした。自分も教員になって「子どもたちに自信をもたせ、学校が楽しくなるような指導がしたい」と思い教員を目指しました。子どもたちには授業を通して「できた」「楽しい」という気持ちを伝えていきたいです。

教員として働くなかで嬉しかったこと

担任していた子どもが卒業後に連絡をくれたことです。当時の話をしながら「この子の人生に少しは役に立てたのかな」と感じられたことが、今でも私自身の心の支えになっています。

ワークライフバランスの充実に向けて取り組んでいること

仕事に優先順位をつけて、余裕をもって仕事に取り組めるようにしています。同僚の先生に「私生活で豊かな経験をした先生は、教室での子どもへの声掛けが変わったり、新しいアイデアがわいてきたりするよ」というアドバイスをいただき、私も実践しています。休みの日は、家族との時間や自分の趣味の時間を大切にしています。

教員の仕事の魅力について

子どもたちの成長に関わることができることです。学習面の成長はもちろん、日常生活での変化など昨日まではできなかったことが今日はできるようになっていることも珍しくなく、その成長は目覚ましいです。子どもたちの成長を促し、そばで見守ることができるのは、教員の仕事ならではの魅力です。

教員を目指す人に向けてのメッセージ

教員は大変な仕事です。でも、それ以上のやりがいを感じています。子どもたちと一緒に困難なことを乗り越えたとき、笑顔に触れたときなど様々な時間を一緒に過ごせます。全てがかけがえのない大切な瞬間だったと感じます。これから教員を目指している方、ぜひ一緒に北九州市の教育を盛り上げていきましょう。

令和5年度 杉浦奨学生の決定

芸術・文化、学術、スポーツの各分野で優れた成績を残し、将来の北九州市の文化振興等の担い手となる人材を育成するため、北九州市文化振興基金を活用して、修学資金の一部が給付される「杉浦奨学生」に、令和5年度は6名の方が決定しました。

過去の奨学生の中には、オリンピック代表など輝かしい実績を挙げている方が多数おり、杉浦奨学生の更なる活躍が期待されます。

令和5年度 杉浦奨学生

(校種・五十音順)

氏名	部門	学校
岩野 太郎	【スポーツ】空手	真颯館高等学校
草場 萌	【芸術文化】絵画	八幡中央高等学校
新屋 莉絢	【スポーツ】空手	真颯館高等学校
中北 はな	【スポーツ】ソフトボール	北九州市立高等学校
福田 果音	【スポーツ】パラ競泳	小倉西高等学校
白川 憂里亜	【芸術文化】声楽	東京藝術大学大学院



杉浦奨学金については、https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kurashi/menu01_00254.htmlをご参照ください。